

# 下関市立病院改革プラン点検・評価書

平成25年8月

下関市病院事業部

## 目 次

1. 点検・評価にあたって	.....	1
(1) はじめに		
(2) 点検・評価の方法		
2. 点検・評価について	.....	3
(1) 点検・評価		
(2) 評価委員会における主な意見		
(3) 今後の取り組み方針について		
3. 評価委員会について	.....	6

### 別添

- 資料1 「下関市立病院改革プラン 平成24年度実施状況に係る点検・評価」  
(豊浦病院・豊田中央病院)
- 資料2 「下関市立病院改革プラン評価委員会委員名簿」
- 資料3 「下関市立病院改革プラン評価委員会設置要綱」

## 1. 点検・評価にあたって

### (1) はじめに

下関市立病院改革プラン（以下「本プラン」という。）は、平成19年に総務省が作成した「公立病院改革ガイドライン」を踏まえ、下関市立豊浦病院及び豊田中央病院の経営に係る計画として、平成24年3月に策定したところである。

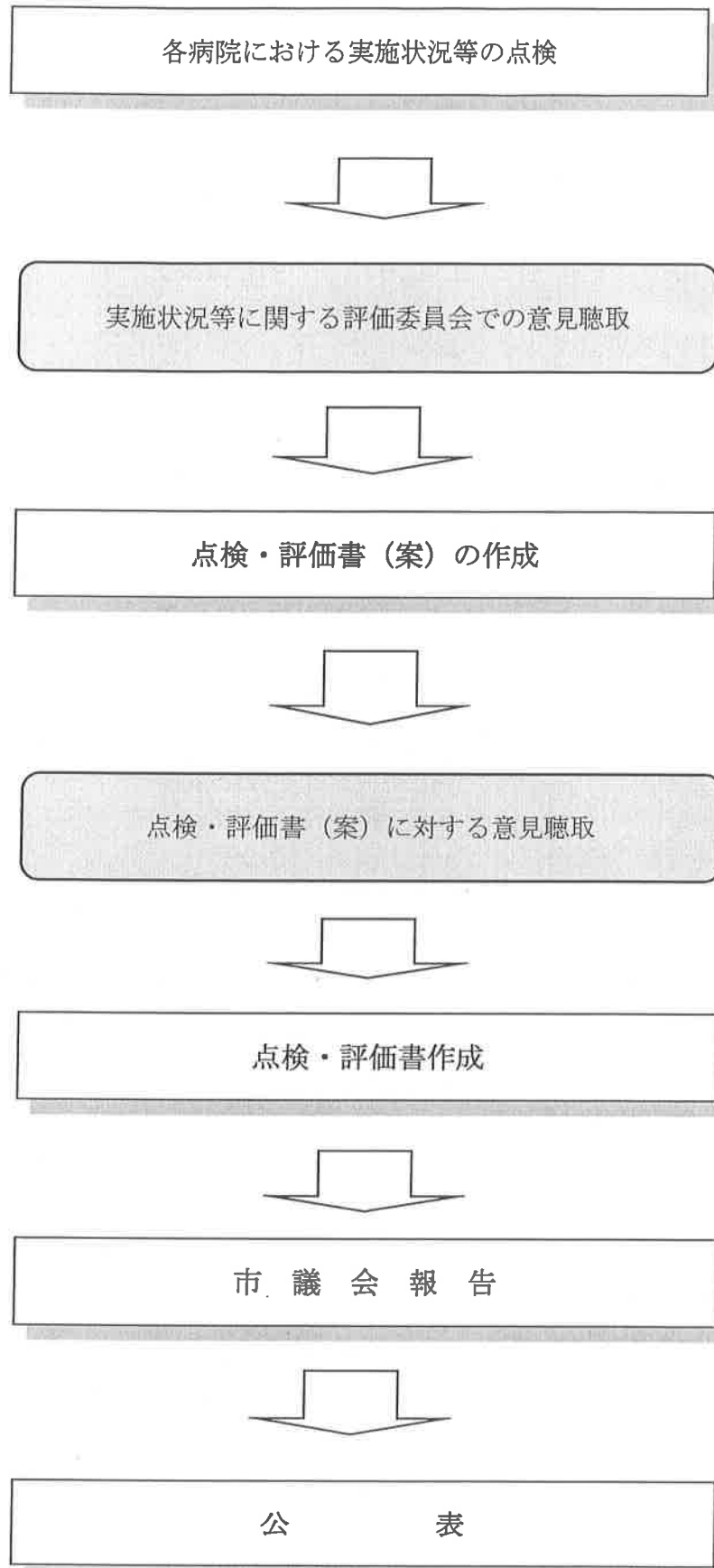
平成24年度は、豊浦病院においては、豊浦・豊北地域の中核的な病院として適正な医療体制を確保し、地域住民から信頼される総合的医療サービスを展開した。また、建物の老朽化などが進んでいることから、学識経験者などで構成された外部委員による「下関市立豊浦病院あり方検討委員会」を開催して、この検討委員会の意見書等を踏まえて、豊浦病院の今後の施設整備についての方針決定を行った。

豊田中央病院においては、豊田町、豊北町の市北部における中核的な医療を担っており、地域住民に良質な医療を提供するとともに、平成25年2月からは訪問リハビリテーション事業を開始するなど、患者の視点に立った医療の提供等に取り組んだ。

本プランについては、実施状況を概ね年1回程度点検・評価・公表するとともに、学識経験者等で構成される委員会等に諮問等を行い、評価の客観性を確保することとなっている。

このため、下関市立病院改革プラン評価委員会を設置し、本プランの点検及び評価についての意見聴取を行うものであり、今回は、平成24年度の本プランの実施状況についての点検及び評価を行った。

(2) 点検・評価の方法



## 2. 点検・評価について

### (1) 点検・評価

各病院において目標を達成するための具体的な取り組みに係る実施状況を点検・評価するとともに、評価の客観性を確保するため、評価委員会において、意見聴取を行った。

### (2) 評価委員会における主な意見

#### ア) 全体的な意見

- ・実績値の評価方法として、目標値と比較するだけでなく前年度の実績値と比較し、その改善度についても評価すべきではないか。

#### イ) 豊浦病院について

- ・様々な取り組みが一定の成果を上げていると思われる。参考にできる部分があれば、豊田中央病院や市民病院も取り入れていただきたい。
- ・療養環境等の整備のため、新病院の建替えまでの間は、必要最低限の改修工事は必要だと思う。
- ・豊浦病院については、平成23年度から建替えの検討を始め、現在、平成30年度の開院予定だが、時間の経過とともに医療の世界も変わって来るため、出来る限り早期の開院を目指してほしい。

#### ウ) 豊田中央病院について

##### a) 数値目標及び評価について

- ・目標値に対する実績値が低い。例えば、医業収益の目標値が年々増加傾向となっているが、人口が減少する中で達成不能な目標値になっていないか。
- ・改革プランの目標設定と内容が、本当に目標の達成につながっているのか。例えば、人口が減少する中で、患者数を増やす目標が達成出来るのか。
- ・目標と実績の乖離を小さくするためにも、地域の実情に合わせたり実際のニーズに応じて、目標値を検討すべきではないか。

- ・医師や看護師の不足が収支に影響を与え、このことが評価にも直結し、やむを得ない部分もある。この点をどう評価すればよいのかという問題もあるため、医師や看護師が不足していることを前提とした目標値の立て方もあると思う。

b) 医師の確保について

- ・研修医の受け入れを行っているようだが、研修後に、そのまま病院に残っていただけるような取り組みについて検討してはどうか。
- ・豊田中央病院には自治医科大学出身の医師が来ているので、9年間の義務年限明けの医師にアプローチして確保に努めてはどうか。

c) 今後の取り組みについて

- ・豊田中央病院は少子高齢化が進む過疎の地域にあり、既に様々な対策が採られていることと思う。この地域に住んでいる者にとって、安心して暮らせるためにも、「頼れる病院」、「相談に乗ってくれる病院」は必要不可欠であり、大病院にはないきめ細かな対応をしてほしい。
- ・病院にかかっている患者の中には歩行が困難な方がいて、その患者を介護する方も高齢化しているし、高齢者が転倒すると歩行困難となることもあるため、訪問診療については今後も積極的に行い、訪問看護については検討を行うなど、在宅の方をサポートする体制を採っていただきたい。
- ・豊田中央病院は、この地域にはなくてはならない病院ではあるが、すべてを行うのではなく、例えば、眼科やリハビリなどに重点を置いた診療を行ったり、総合診療医を配置することにより他の病院の専門医を紹介するなどの取り組みを行ってはどうか。また、小児、産科、救急などは不採算でも必要と思う。

- ・豊田中央病院については、実施しなければならないことが沢山あると思われるが、人員確保や費用の問題を考慮すると、すべてを行うのではなく、例えば、現在取り組んでいる訪問診療等に特化した取り組みが重要と思われる。その際、訪問診療に力を入れる代わりに、削るべきところは削る必要がある。
- ・介護部門では、過疎地であっても民間業者は参入し、赤字を出さぬよう知恵を絞って一生懸命に経営しているが、豊田中央病院も同様の気持ちで病院経営を行わなければならないと思う。

### (3) 今後の取り組み方針について

今回の点検・評価により、目標を達成できた項目については、引き続き良好な状態を保つよう努力し、目標を達成できていない項目については、達成できるよう、十分に要因の検証を行うこととする。

また、評価委員からいただいた意見等については、今後の健全で効率的な病院経営に活かすとともに、採り入れることができることについては採り入れ、下関市立病院改革プランに沿って、引き続き、病院の経営改善に取り組むこととする。

3. 評価委員会について

(1) 名 称 下関市立病院改革プラン評価委員会

(2) 委員名簿 別添名簿のとおり。

(3) 開催状況

日時：平成25年7月24日（水）13：30～

場所：しものせき環境みらい館 3階 第1研修室

(4) 設置要綱 別添要綱のとおり。



下関市立病院改革プラン  
平成24年度実施状況に係る点検・評価

## 豊浦病院

項目		内容	達成状況
経営効率化に係る計画	民間的経営手法の導入	① 平成18年4月から指定管理者制度を採用し、民間的経営手法を導入済みである。	① 平成18年4月から指定管理者制度を採用し、民間的経営手法を導入済みである。
	事業規模	① 病床数については、275床（一般病床155床、療養病床120床）として現状規模を維持し、診療科目については、現状の17診療科を維持する。	① 事業規模については現状維持の275床、17診療科としている。
	経費削減・抑制対策	① 経費削減及び抑制のため、平成23年4月から、代行制から利用料金制に移行したものである。	① 平成23年4月に、代行制から利用料金制に移行した。
	収入増加・確保対策	① 現在、利用料金制を採用しているため、手数料収入を除き病院事業会計には入らない。	① 利用料金制を採用しているため、手数料収入を除き病院事業会計には入らない。
業務の健全運営と効率化	医療機器の計画的更新	① 予算作成時に、指定管理者に対して医療機器の購入計画を提出させ、計画的な機器購入を行うことにより、患者に対して最新の医療技術を提供することにより患者サービスの向上を図る。平成24年度は、職員間の情報の共有化を図るとともに、診療の迅速化及び安定化を図るため、老朽化した病院情報システムの更新を行う予定である。	① 予算作成時には、指定管理者側とも協議を重ね、計画的な医療機器の購入更新に努めている。平成24年度は、病院情報システムを更新した。
	指定管理者との連携強化	① 経営改善をするためには、医師を確保することが要件となる。医師の採用等については指定管理者が独自に行っているが、基本協定に基づき、地域医療充実のための適正な医療体制を要請する。	① 現在、指定管理者による医師確保が図られている。平成24年度からは、臨床研修病院の指定を受け、山口大学医学部及び山口赤十字病院より研修医を受け入れることで、医師の確保に努めている。
	病院のあり方に関する方向性の確認	① 病院の運営を行っている指定管理者と豊浦病院のあり方に関する方向性を共有し、豊浦・豊北地域における中核的な病院として、適正な医療体制を確保し、住民から信頼される医療サービスの提供に努める。	① 指定管理者とは、随時、病院運営についての協議を重ねることにより、お互いの信頼の確保と情報の共有に努めているところである。
	未収金対策	① 指定管理者と連携し、未納者に対する文書通知や電話催告、再来時における窓口での督促や事務局と病棟の連携による入院患者への督促などを行い、過年度未収金のうちの滞納分の削減に努める。	① 未納者に対しては、文書や電話による催告、再来時における窓口での督促、事務局と病棟の連携による入院患者への督促などを行い、未収金の削減に努めているが、計画どおりには達成されていない。

## 豊浦病院

項目	内容	達成状況
施設の老朽化への対応	<p>① 建物の建築年が古く、施設の老朽化が進んでいる。平成23年8月に、今後も健全な病院経営を継続しながら地域住民のニーズに対応できる病院施設のあり方を検討するため、下関市立豊浦病院庁内検討委員会を設置した。</p> <p>平成24年度は、外部委員による検討委員会を開催し、当該検討委員会の意見等を踏まえた上で、下関市としての方針を決定する。</p>	<p>① 平成24年度は、外部委員による検討委員会を開催し、当該検討委員会の意見等を踏まえた上で、下関市としての基本方針を決定した。</p> <p>平成25年度は、基本方針に基づき、指定管理者と協議会を設置して協議を進めていくとともに、整備基本計画を策定する。</p>

## 豊浦病院

目標数値	H24年度		増減	評価	未達成の理由
	目標値	実績			
入院収益(千円)	2,550,985	2,576,711	25,726	○	
入院延患者数(人)	92,345	91,328	▲ 1,017	×	療養病床における長期入院患者の退院による。
1日平均入院患者数(人)	253.0	250.2	▲ 2.8	×	療養病床における長期入院患者の退院による。
入院診療単価(円)	27,625	28,214	589	○	
病床利用率(%)	92.0	91.0	▲ 1.0	△	療養病床における長期入院患者の退院による。
一般病床利用率(%)	89.7	91.1	1.4	○	
療養病床利用率(%)	95.0	90.8	▲ 4.2	×	長期入院患者の退院による。
平均在院日数(日)	21.0	19.8	▲ 1.2	○	
外来収益(千円)	698,005	719,175	21,170	○	
外来延患者数(人)	90,650	92,319	1,669	○	
1日平均外来患者数(人)	373.0	376.8	3.8	○	
外来診療単価(円)	7,700	7,790	90	○	
現年度未収金(滞納分) (千円)	10	0	▲ 10	○	
過年度未収金(滞納分) (千円)	41,000	41,419	419	×	平成23年度からは利用料金制へ移行したため平成22年度までの未収金であるが、未収金が古くなるにつれて回収率が悪くなるため。

評価欄; ○達成できた △数値目標は達成できなかったが、概ねクリアできた ×達成できなかった

## 豊浦病院

目標数値	H20年度	H21年度	H22年度		H23年度		H24年度	
	実績	実績	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
入院収益(千円)	1,989,609	2,204,687	2,135,002	2,411,299	2,383,297	2,507,164	2,550,985	2,576,711
入院延患者数(人)	82,429	89,839	86,140	92,923	92,598	92,056	92,345	91,328
1日平均入院患者数(人)	225.8	246.1	236.0	254.6	253.0	251.5	253.0	250.2
入院診療単価(円)	24,137	24,540	24,785	25,949	25,738	27,308	27,625	28,214
病床利用率(%)	82.1	89.5	85.8	92.6	92.0	91.7	92.0	91.0
一般病床利用率(%)	79.4	85.7	85.2	89.2	88.4	89.6	89.7	91.1
療養病床利用率(%)	85.6	94.4	86.7	97.0	96.7	93.9	95.0	90.8
平均在院日数(日)	22.3	18.3	20.5	21.7	21.0	21.0	21.0	19.8
外来収益(千円)	603,137	667,557	640,287	694,011	696,157	698,724	698,005	719,175
外来延患者数(人)	86,388	90,198	85,910	89,321	89,792	91,849	90,650	92,319
1日平均外来患者数(人)	355.5	372.7	355.0	367.6	368.0	376.4	373.0	376.8
外来診療単価(円)	6,982	7,401	7,453	7,770	7,753	7,607	7,700	7,790
現年度未収金(滞納分) (千円)	6,556	7,565	5,000	7,576	5,000	0	10	0
過年度未収金(滞納分) (千円)	30,087	34,226	29,000	38,145	29,000	42,306	41,000	41,419

豊田中央病院

項目		内容	達成状況	
患者中心の医療の提供	患者の権利・義務の明確化	① 個人情報保護対策に努める。	① 電子カルテシステムの更新に合わせて、個人情報保護について、全職員を対象に研修会等を実施した。	
	患者の意向の尊重	① 地域連携室を中心に、圏域内の他の医療機関との連携を強化し、地域住民や利用者等の利便性の充実に努める。	① H25年2月から訪問リハビリテーション事業をスタート、訪問診療を含め、地域連携室を窓口として調整し、可能な限り対応しており、患者や利用者の利便性の充実に努めた。	
		② アンケートによる患者満足度等、患者ニーズの把握に努める。	② 患者アンケート調査を実施し、満足度等の調査を実施し、病院運営協議会等を通じて不満足項目を職員に通知するとともに、満足度の向上に努めた。	
		③ 整形外科及び脳神経外科等による専門外来の充実に努める。	③ 脳神経外科については、平成23年4月から豊浦病院から医師の派遣を受け、月1回の診療を行っている。整形外科は平成22年4月以降、山口大学から週3日の派遣を受け診療体制を維持し、患者数の増加につながっている。	
	患者サービスの向上	① 外来及び病棟に意見箱を設置し、苦情等のうち患者の環境改善に係るものについては、迅速に対応し改善を図る。	① 毎月の病院運営協議会の中で、対策を検討し、回答を掲示するとともに、早急な改善に努めた。	
		② 診療体制の見直しを行い、外来患者の待ち時間の解消を図る。	② 外来の予約診療を行っており、予約患者の待ち時間は短縮している。基本的には、新患以外は予約票を渡し次回予約を案内しており、予約診療は定着している。	
		③ 病院ホームページ及び広報誌等を活用した情報提供を積極的に行う。	③ 広報誌については、年4回発行し、病院情報の提供に努めた。また、病院ホームページは、お知らせ等随時更新を行っている。	
		④ 患者療養環境の改善を図る。	④ 入院ベッドの低床化により、高齢者に対応した療養環境の改善に努めたほか、平成24年4月から売店を設け、患者の利便性の向上を図った。	
	良質な医療の提供	優秀な人材の確保及び育成	① 優秀な医師や医療技術員の確保に努める。	① 山口県及び山口大学へ院長・事務局長が出向いて医師派遣の働きかけを継続している。
			② 地域医療を志す医師の勧誘を積極的に行う。	② 山口大学(6名)及び自治医科大学(1名)の学生の研修受け入れ等を積極的に行った。また、地域医療に関する研修医(3名)についても、各総合病院との連携強化の中で受け入れを行っている。
			③ 職員の研究及び資格取得に対するサポート体制を整え、医師や医療技術員が集まる病院づくりを行う。	③ 医師の学会等への派遣や認定看護師資格取得のため、看護師1名を長期研修に派遣した。技術系職員については、技術向上のための学会・研修会への計画的な参加を行った。
	良質な医療にふさわしい環境の整備	① 電子カルテの機能向上等を行い、仕事の効率化を図る。	① 電子カルテシステムを更新し、H25年1月から稼働させ、仕事の効率化を図った。	
② クリニカルパスやチーム医療の充実に努める。		② 眼科手術におけるパスの活用により、スムーズな患者の受け渡しができ、より安全な医療の提供につながっている。		

豊田中央病院

項目		内容	達成状況
患者中心の医療の提供	先進的な眼科医療の提供	① 本市北部地域には、他に眼科診療を行う医療機関はなく、高齢化が進むにつれて白内障等の治療ニーズが高まることに対応し、また、医療機関としての特色を出すため、山口県内でも先進的な眼科診療が提供できるよう、スタッフや設備等の充実に、今後さらに努める。	① 眼科マルチスキャンレーザーを更新し、網膜(眼底)の病気進行の抑制治療を充実したほか、画像ファイリングシステムの更新を行い、眼科各検査機器のデータ集積による患者説明機能の充実を図った。
	安全で安心な医療の提供	① 医療事故防止や院内感染防止のための対策などを推進するため、各種委員会及び職員研修会を積極的に開催し、職員間の情報の共有化を図る。	① 各委員会は、積極的な取組を行っており、院内感染予防委員による月2回の院内巡視により、院内の安全が徹底されているか確認するなど、医療環境の改善に努めている。
		② 医薬品、医療材料及び医療機器等の安全な管理に努める。	② 医療機器等安全管理委員会において、保守点検機器を定め、メーカーによる定期保守点検のほか、独自の日常点検表により、安全な管理に努めている。
		③ 危機管理体制の強化として、各避難マニュアルに基づく避難訓練を実施する。	③ H24年11月に火災原因による避難訓練を行ったほか、H25年3月に土砂災害対策の避難訓練を実施した。
経営改善に向けた取組	患者数の確保	① 各種健診や人間ドックなど健診体制の充実を図り、新規患者の掘り起こしによる患者数の増加を図る。	① 内科専門医の体制が整い、健診等の件数が61件増加した。
		② 自治医科大学を卒業した医師の常勤採用を行うなど、診療体制を充実し、患者数の増加を図る。	② H25年4月から眼科常勤医師1名を確保し、2名体制となっている。
		③ 訪問診療を継続して行うなど、在宅医療の推進を図る。	③ 平成25年2月から訪問リハビリテーションを開始し、在宅医療の充実を図った。
	収益の確保	① 外来診療機能、検査体制の充実を図る。	① 電子カルテシステムの更新により、入院も電子カルテとなり、薬局、X線、検査等の各部門とも連携が図られ、診療機能の充実につながった。また、眼科においては、マルチスキャンレーザーの更新などの機能強化を図った。
		② 圏域内の他の医療機関及び介護・福祉関連施設等との連携を強化し、入院患者の獲得に努め、病床利用率の引き上げを図る。	② 地域連携室を各医療機関との連絡窓口として1本化し、入退院調整により患者確保に努めているほか、介護・福祉関連施設とは、地域ケア会議において情報共有を図るなど、関係機関との連携強化に努めた。
	その他の収益確保	① 未納者に対する電話催告、再来時における窓口での督促、長期又は高額滞納者に対しては訪問徴収を行うなど、未収金のうちの滞納分の削減に努める。	① 未収金とならないよう、請求月末及び翌月末など早い時期での連絡等に努めている。過年度分については、督促等を継続して行っている。

豊田中央病院

項目		内容	達成状況
経営改善に向けた取組	費用の適正化 材料費等の削減	① 適正な在庫管理等により使用効率を向上させて経費削減を図る。	① 診療材料は最小包装単位を過去6ヶ月実績により定数管理し、過大な在庫を持たないようにしている。
		② ジェネリック医薬品の購入を積極的に行い、経費削減を図る。	② 薬事審議会等で採用品目の選定等を実施、検討中であり、平成25年度中の随時変更を予定している。
	職員参画による病院経営 職員の意識向上	① 毎月開催する病院運営協議会において、常に病院経営の問題等の把握及び検討を行い、職員からの意見や提案を受けて業務改善を実施するなど、職員自らが経営に参画することにより、コスト意識の徹底を図る。	① 病院運営協議会において、毎月の経営状況等について周知し、職員の経営意識の向上を図った。職員提案として安価な診療材料や感染症対策としての診療材料の変更などの提案や業務動線による診療消耗品の設置場所の提案などを受け実施した。
	コミュニケーションの円滑化	① 各委員会の終了後、直ちに協議内容を全職員に通知し、職員間に時差の無い決定事項の周知を徹底する。	① 各委員会とも終了後、直ちに協議内容を回覧等で周知している。



豊田中央病院

目標数値	H24年度		増減	評価	未達成の理由
	目標値	実績			
新規外来患者数(人)	3,400	2,825	▲ 575	×	医師の異動退職等による患者数の減による。
外来延患者数(人)	36,800	31,135	▲ 5,665	×	〃
外来収益(千円)	225,100	189,138	▲ 35,962	×	〃
1日平均外来患者数(人)	150.2	127.1	▲ 23.1	×	〃
外来診療単価(円)	6,117	6,075	▲ 42	△	
訪問診療延件数(件)	450	430	▲ 20	△	
新規入院患者数(人)	600	643	43	○	
入院延患者数(人)	22,800	19,840	▲ 2,960	×	医師の異動退職等による患者数の減による。
うち一般病床(人)	14,462	12,629	▲ 1,833	×	〃
うち療養病床(人)	8,338	7,211	▲ 1,127	×	〃
1日平均入院患者数(人)	62.5	54.4	▲ 8.1	×	〃
一般病床(人)	39.6	34.6	▲ 5.0	×	〃
療養病床(人)	22.8	19.8	▲ 3.0	×	〃
病床利用率(%)	88.0	76.6	▲ 11.4	×	〃
一般病床(%)	88.0	76.9	▲ 11.1	×	〃
療養病床(%)	87.9	76.0	▲ 11.9	×	〃
入院収益(千円)	530,000	468,964	▲ 61,036	×	〃
入院診療単価(円)	23,246	23,637	391	○	
健康診断等受診者数(人)	1,000	1,201	201	○	
現年度未収金(滞納分)(千円)	500	103	▲ 397	○	
過年度未収金(滞納分)(千円)	2,100	1,735	▲ 365	○	
医業収益A(千円)	826,695	726,087	▲ 100,608	×	入院・外来とも患者の減に伴い、医業収益が減少した。
薬品費B(千円)	61,500	50,807	▲ 10,693	○	
対医業収益比率B/A(%)	7.44	7.00	▲ 0.44	△	
診療材料費C(千円)	44,000	33,068	▲ 10,932	○	
対医業収益比率C/A(%)	5.32	4.55	▲ 0.77	△	
医業収支比率(%)	82.9	80.7	▲ 2.2	×	患者の減に伴い、医業収益が減少したため。
経常収支比率(%)	96.2	98.4	2.2	○	
職員給与費比率(%)	76.5	83.1	6.6	×	患者の減に伴い、医業収益が減少したため、比率が高くなった。
材料費比率(%)	13.7	12.1	▲ 1.6	△	

評価欄:○達成できた △数値目標は達成できなかったが、概ねクリアできた ×達成できなかった

## 豊田中央病院

目標数値	H20年度	H21年度	H22年度		H23年度		H24年度	
	実績	実績	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
新規外来患者数(人)	2,934	3,133	3,800	3,250	3,800	3,072	3,400	2,825
外来延患者数(人)	35,212	32,824	42,000	33,825	44,000	33,113	36,800	31,135
外来収益(千円)	185,031	187,709	222,600	218,218	237,600	201,113	225,100	189,138
1日平均外来患者数(人)	144.9	135.6	171.4	139.2	179.6	135.7	150.2	127.1
外来診療単価(円)	5,255	5,719	5,300	7,080	5,400	6,074	6,117	6,075
訪問診療延件数(件)	8	59	100	205	200	445	450	430
新規入院患者数(人)	542	528	800	567	800	637	600	643
入院延患者数(人)	16,813	18,290	21,995	22,513	22,962	21,256	22,800	19,840
一般病床(人)	11,751	12,205	14,783	14,883	15,275	13,524	14,462	12,629
療養病床(人)	5,062	6,085	7,212	7,630	7,687	7,732	8,338	7,211
1日平均入院患者数(人)	46.1	50.1	60.3	61.7	62.9	58.1	62.5	54.4
一般病床(人)	32.2	33.4	40.5	40.8	41.9	37.0	39.6	34.6
療養病床(人)	13.9	16.7	19.8	20.9	21.1	21.1	22.8	19.8
病床利用率(%)	64.9	70.6	84.9	86.9	88.6	81.8	88.0	76.6
一般病床(%)	71.5	74.3	90.0	90.6	93.0	82.1	88.0	76.9
療養病床(%)	53.3	64.1	76.0	80.4	81.0	81.3	87.9	76.0
入院収益(千円)	385,852	408,365	484,481	482,506	505,787	486,968	530,000	468,964
入院診療単価(円)	22,950	22,327	24,103	21,432	24,200	22,910	23,246	23,637
健康診断等受診者数(人)	867	1,306	1,000	993	1,000	1,140	1,000	1,201
現年度未収金(滞納分)(千円)	287	752	700	625	700	91	500	103
過年度未収金(滞納分)(千円)	1,682	1,674	1,300	1,922	1,200	1,793	2,100	1,735
医業収益A(千円)	634,781	662,770	777,025	766,342	813,331	756,764	826,695	726,087
薬品費B(千円)	40,988	40,988	40,000	48,876	40,000	54,293	61,500	50,807
対医業収益比率B/A(%)	6.46	6.18	5.15	6.38	4.92	7.17	7.44	7.00
診療材料費C(千円)	32,832	31,551	34,000	32,437	33,000	35,471	44,000	33,068
対医業収益比率C/A(%)	5.17	4.76	4.38	4.23	4.06	4.69	5.32	4.55
医業収支比率(%)	71.5	75.4	84.0	82.8	88.8	77.4	82.9	80.7
経常収支比率(%)	79.3	89.0	91.7	96.2	96.4	90.7	96.2	98.4
職員給与費比率(%)	88.3	86.9	74.0	76.3	70.7	87.4	76.5	83.1
材料費比率(%)	12.4	11.6	10.2	11.4	9.6	12.6	13.7	12.1

## 下関市立病院改革プラン評価委員会 委員名簿

区 分	団 体 名	役 職	氏 名
医療関係者	一般社団法人下関市医師会	会 長	弘 山 直 滋
	公益社団法人山口県看護協会	認定看護管理者 教育運営委員	岡 田 久 子
住民・ まちづくり団体	豊田地区保健推進委員会	会 長	梶 山 光智子
学識経験者	公立大学法人下関市立大学	准教授	杉 浦 勝 章
	一般社団法人 山口県中小企業診断協会	監 事	弘 利 要



## 下関市立病院改革プラン評価委員会設置要綱

## (設置)

第1条 下関市立病院改革プラン（以下「プラン」という。）の点検及び評価について、専門的な見地又は広く住民の意見を市政に反映させるための意見聴取の場として下関市立病院改革プラン評価委員会（以下「委員会」という）を設置する。

## (組織)

第2条 委員会の委員は、委員5名以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が選任する。

- (1) 医療関係者
- (2) 住民・まちづくり団体
- (3) 学識経験者
- (4) その他市長が必要と認める者

## (任期)

第3条 委員の任期は、プランに関する意見聴取の必要がなくなるまでとする。

## (会議)

第4条 委員会は、市長が招集する。

2 委員会を開催する場合は、委員の過半数以上が出席できるよう努める。

3 委員会は原則公開とする。ただし市長は、内容に応じて、非公開とすることができる。

## (委員長)

第5条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選によってこれを定める。

3 委員長は、会議の議事進行を行い、会議が円滑に進められるよう努めるものとする。

4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理するものとする。

第6条 市長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、病院事業部病院管理課において処理する。

(その他)

第8条 その他委員会の運営に必要な事項は、市長が定める。

附 則

この要綱は、平成22年7月8日から施行する。

附 則 (平成24年4月1日改定)

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。